

グローバル・コモنزの保全に向けた東京大学との共同研究の成果について
～カーボンニュートラル時代の日本の化学産業の役割について研究レポートを発表～

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：筑本 学）は、東京大学が設立したグローバル・コモنز・センター（ダイレクター：石井 菜穂子）と、2021 年 4 月 1 日より、グローバル・コモنز（地球環境や生態系、自然資源など、地球規模で人類が共有している財産）を守るための化学産業の役割に関する共同研究を行ってきました。このたび、共同研究の成果として、日本の化学産業の脱炭素化に関する研究レポート「カーボンニュートラル時代の日本の化学産業」（以下「当レポート」）が発表されたことをお知らせします。

【当レポートのポイント】

- 日本の化学産業の脱炭素化のボトルネックは技術不足ではなく、資源制約および「高コスト⇒低需要⇒低生産量⇒高コスト」という悪循環（ニワトリと卵）にあることを明らかにしました。
- 化学技術論だけに終始せず、資源制約・産業政策・成長戦略・国家競争力などの観点からも課題を整理し、総合的な検討を行っています。

○当レポートの発表ページ

URL: <https://cgc.ifi.u-tokyo.ac.jp/research/chemistry-industry/>

カーボンニュートラル時代の日本の化学産業

—専門外の読者にもわかる化学産業の地球温暖化対策—

— 資源制約とコスト増の「ニワトリと卵」の克服が脱炭素化と産業競争力を左右する —

【ご参考】成果ダイジェスト

* 1 2020 年 8 月 6 日付プレスリリース

[サーキュラーエコノミーの実現に向けた東京大学と三菱ケミカルとの産学連携について](#)

* 2 2021 年 3 月 31 日付プレスリリース

[グローバル・コモنزの保全に向けた東京大学と三菱ケミカルとの共同研究について](#)

* 3 2022 年 9 月 13 日付プレスリリース

[グローバル・コモنزの保全に向けた東京大学との共同研究の成果について～プラネット・ポジティブ・ケミカルズレポートを発表～](#)

* 4 2024 年 6 月 6 日公開

[日本の化学産業の温室効果ガスネットゼロに関する査読付き学術論文](#)

* 5 2024 年 10 月 7 日付プレスリリース

[日本の化学産業におけるネットゼロへの道筋を示したレポートを発表](#)

以上

お問合せ先
三菱ケミカル株式会社 コーポレートコミュニケーション部
メディアリレーショングループ TEL：03-6748-7140